

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		水道事業会計補助金				単位：円
事業内容	<p>地理的要因による料金格差の是正を行うとともに、水道事業会計の健全化を図るため、一般会計から高料金対策補助金を支出する。</p> <p>また、東日本大震災により被害を受けた水道施設の復旧を図るとともに企業経営の安定に資するため、国庫補助負担金を伴う公営企業の災害復旧事業費等の一部について補助金を支出する。</p>	計画値	基本料金（月額） ・ 5 m ³ まで 1,800円 ・ 5 m ³ 以上10m ³ まで 2,400円 超過料金 10m ³ 以上 1 m ³ につき 210円			
			成果	<p>水道事業会計の健全化を促進し、水道料金の高騰を防ぐことができた。</p> <p>また、被災した公営企業施設の早期復旧と経営の安定及び効率化を図るための簡易水道統合計画事前調査を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高室浄水場災害復旧（場内配管φ250）第3期工事 ・ 簡水統合計画変更事前調査業務委託 ・ 簡水統合計画変更事前調査（その2）業務委託 	実績値	基本料金（月額） ・ 5 m ³ まで 1,800円 ・ 5 m ³ 以上10m ³ まで 2,400円 超過料金 10m ³ 以上 1 m ³ につき 210円
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
155,945,000	155,669,000				155,669,000	

事 業 名		水道事業会計補助金（繰越明許費）				単位：円
事業内容	<p>東日本大震災により被害を受けた水道施設の復旧を図るとともに企業経営の安定に資するため、国庫補助金を伴わない公営企業の災害復旧事業に係る事業費の一部について補助金を支出する。</p> <p>高室浄水場の災害復旧（舗装）工事に関し、冬期間を避け施工条件の良い時期に施工する必要があることから、平成24年度へ繰り越して実施する。</p>	計画値	災害復旧工事 1件			
			成果	<p>被災した公営企業施設の早期復旧と経営安定が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高室浄水場災害復旧（舗装）工事 （完了年月日：平成24年7月11日） 	実績値	災害復旧工事 1件
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,250,000	8,202,000				8,202,000	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		小規模給水施設等設備改良事業費				単位：円
事業内容	浄水施設の水質管理の充実と安定した水の供給のために、監視装置と減圧弁の更新を行う。	計画値	高感度濁度計	1 台		
			減圧弁	1 基		
成果	大野平浄水場の施設状況について、遠隔地での監視が可能となったほか、老朽化した佐比内営農飲雑用水施設の減圧弁を更新し、引き続き安全でおいしい水の安定供給が可能となった。	実績値	高感度濁度計	1 台		
			減圧弁	1 基		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
11,500,000	10,395,000				10,395,000	

事 業 名		すこやか子育て保健事業費				単位：円
事業内容	親と子の健康の保持増進のため、乳幼児健診や育児相談等事業の充実を図り疾病予防及び早期発見・早期治療に努める。特にむし歯有病率の減少を図るため、早期からむし歯予防の指導に努める。また、全出生児を対象に早期家庭訪問を行い、安心・安全に子育てができるよう支援する。 ①家庭訪問 ②集団及び医療機関委託による健康診査（歯科含む） ③来所・電話による健康相談、乳幼児発達（巡回）相談 ④健康教育：栄養指導、むし歯予防健康教育	計画値	産後家庭訪問率	100%		
			3歳児むし歯罹患率	30%以下		
成果	1 新生児及び産婦の家庭訪問を実施し、心身の状況把握や育児環境等個々に応じた支援を行い、育児不安の軽減に努めた。 2 健診・相談を開催し、疾病の予防や早期発見に努め、すこやかな発育・発達につながるよう支援した。 3 乳児期から、個別歯科健康教育を実施し、歯科健診やフッ素イオン塗布剤を使用した積極的なむし歯予防に取り組んだ。 4 妊婦健康診査にかかる費用を14回助成し、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図った。	実績値	産後家庭訪問率	96.6%		
			3歳児むし歯罹患率	30.7%		
			各健診受診率	97.9%		
			乳幼児健診	48回		
			乳幼児相談	36回		
			集団歯科健診	24回		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
26,643,000	25,407,063	4,396,000			21,011,063	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		妊産婦サポート事業費				単位：円
事業内容	<p>妊産婦が安心安全に妊娠・出産・育児ができるよう支援する。特に市内に出産できる医療機関がないことに伴い、市外に通院する妊産婦の通院費を助成し経済的負担の軽減を図るとともに、妊婦健診の受診を促進し母子の健康管理に努める。</p> <p>また、健康教育や家庭訪問指導を充実させ不安の軽減を図る。</p> <p>1 妊婦定期健康診査に係る通院費の助成 2 子育て教室の開催</p>	計画値	<p>通院費助成件数 200件 子育て教室 4回</p>			
	成果		実績値	<p>1 子育て支援の一環として、育児中の母親を対象にエアロビクスや親子手遊びなどの子育て教室を開催するなど、参加者同士の交流・情報交換等仲間づくりを支援し、子育てのストレスや育児不安の解消につながるよう努めた。</p> <p>2 医療機関所在地域により定められた金額を、妊婦定期健康診査受診回数に応じた交通費を助成し経済的負担の軽減を図った。また定期的な健診受診を促し、健康管理及び疾病の早期発見・治療につながるよう努めた。</p>		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,723,000	2,996,778					2,996,778

事 業 名		不妊治療支援事業費				単位：円
事業内容	<p>子どもを希望しているが恵まれない夫婦は、夫婦の約10%といわれ、不妊治療の進歩とともに、積極的に治療を受ける夫婦が増加している。不妊治療のうち、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)は1回の治療費が高額で、医療保険の適用が受けられず経済的負担が大きいいため、特定不妊治療費の一部を助成する。</p> <p>1 夫婦一組に対し、一年度当たり治療1回につき上限15万円、年2回(初年度に限り3回)を限度に通産5年治療費を助成する。(県助成有：費用等同額) 2 対象者への事業の周知を図る。</p>	計画値	<p>治療費助成件数 17件</p>			
	成果		実績値	<p>1 保険適用外の特定不妊治療への経済的支援として有効であり、平成24年度は1回の助成限度額を15万円に引き上げ、初年度に限り年度3回まで助成回数を増やし、さらなる経済的支援に努めた。</p> <p>2 交付対象者は、県助成金の交付決定を受けている者であることから、県(中部保健所)との連携や広報掲載により対象者へ告知を図った。</p>		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,550,000	2,035,910					2,035,910

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		助産院ねっと・ゆりかご推進事業費				単位：円
事業内容	1 市内にお産を扱う施設がないことによる、妊婦とその家族の不安と身体的・経済的負担軽減を図るため、遠隔妊婦健診を主軸とした助産院活動を行う。 2 連携医療機関の協力体制を整備し、遠隔妊婦健診を充実させる。 3 健康教育・妊婦訪問を行い妊産婦の健康保持増進を図るとともに安心して出産ができる環境づくりを支援する。 4 遠野市助産院開設5周年にあたり「ハッピーバースデーゆりかご&元気わらすっ子暖らん会」を開催する。	計画値	遠隔妊婦健診利用率	60%	妊婦教室実施回数	24回
	参加率		30%	両親教室実施回数		8回
成果	1 助産院における妊婦健診等の利用者実人数は 137名（うち市外利用者18名）妊婦届け出数に対する市内妊婦利用率は61.3%であった。 2 妊婦教室・両親教室をとおして妊娠中の健康教育を行い妊産婦の健康保持増進と、父親の育児参加支援を図った。 3 妊婦に対し家庭訪問を行い分娩開始時の対応、産後の経過と諸手続きについて指導を行い不安の軽減に努めた。 4 妊婦訪問は平成24年12月より助産師1人体制となり、ハイリスク妊婦を中心に訪問を実施したため計画値を達成することができなかった。 5 遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」開設5周年「ハッピーバースデーゆりかご&元気わらすっ子暖らん会」を12月2日にあえりあ遠野で開催。妊産婦支援の取り組み紹介と記念講演を行った。参加者 447名。	実績値	遠隔妊婦健診利用率	61.3%	妊婦教室実施回数	24回
	参加率		16.0%	両親教室実施回数		8回
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,265,000	6,438,178	553,000		1,635,500	4,249,678	

事業名		周産期救命スタッフ養成等医療体制整備事業費				単位：円
事業内容	1 新生児蘇生法「専門コース」を開催し、周産期救急に関わる医療関係者のスキルアップを図り新生児仮死による障害、新生児死亡の発生を防ぐ。 2 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」操作及び超音波操作講習会を開催し、周産期救命スタッフのスキルアップを図る。 3 遠野市妊産婦等健康支援体制整備検討会を開催し、医療連携による緊急搬送等体制づくりを進め、市外に通院する妊産婦の安心を高める。 4 周産期医療体制の強化を目的に、周産期超音波画像伝送システムを導入し、遠隔地の医療施設と医療情報の共有、妊婦健診診断の精度の向上を図る。	計画値	新生児蘇生講習会	11回	いーはとーぶ操作講習会	3回
	超音波操作講習会		4回	妊産婦等健康支援体制整備検討会		1回
成果	1 新生児蘇生講習会を11回開催。救急搬送等に関わる医療関係者助産師・看護師・救急救命士など90名が受講し、新生児蘇生法「専門コース」の認定取得を図った。 2 平成24年度における妊婦緊急搬送には助産師が同乗。新生児蘇生が必要となったケースには認定取得者により良好な状態で搬送できた。 3 妊産婦等健康支援体制整備検討会を1回開催し、周産期救命医療体制の強化と安心・安全な環境整備について検討を行った。 4 4D超音波診断装置と周産期超音波画像伝送システムを整備し、より精度の高い遠隔妊婦健診の環境整備を図った。 5 いわて周産期医療フォーラムを平成25年2月3日あえりあ遠野にて開催。周産期救急医療に関わる医師・助産師・救急救命士等 153名が参加。震災時の周産期医療についての報告と、周産期・新生児救急に関する講演を行い、スタッフのスキルアップを図った。	実績値	新生児蘇生講習会	11回 (90名参加)	いーはとーぶ操作講習会	3回 (39名参加)
	超音波操作講習会		4回 (25名参加)	妊産婦等健康支援体制整備検討会		1回開催
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
35,056,000	32,238,490	32,238,000			490	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		地域医療環境整備事業費				単位：円
事業内容	1 社団法人遠野市医師会に委託し休日救急医療診療を確保する。 2 遠野歯科医師会に委託し日曜歯科診療を実施する。 3 岩手中部医療圏における休日及び夜間の第2次救急医療を確保する。 4 遠野方式在宅ケア推進のため医療機器を整備する。 5 市内の医師不足を解消するため県立遠野病院勤務医をはじめ市内開業医の新規着任に向けた医師招へい活動を実施する。 6 救急医療週間中に救急医療知識の啓発普及活動を実施する。 7 医療講演会を実施する。	計画値	・休日診療当番 年間実施日数 71日 ・日曜歯科診療当番 年間実施日数 52日 ・救急医療講演会 1回 ・医師確保数 1人			
	1 市内における医科の休日診療及び日曜日に歯科診療当番を計画し、診療日程表を配布して市民周知を図るとともに、計画どおり実施した。 2 市内及び中部地域の救急指定医療機関との連携により、市民生活の救急医療体制を確保した。 3 救急医療週間における『救急医療講演会』を市消防署と協力して開催し、救急医療の市民啓発を実施した。 4 県立遠野病院に協力して医師の招へい活動を展開し、内科医師（神経内科専門医）1名の確保につながった。		実績値	・休日診療当番 年間実施日数 71日 患者数 2,298人 ・日曜歯科診療当番 年間実施日数 52日 患者数 137人 ・救急医療講演会 1回 参加者数142人 ・医師確保数 1人		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
22,654,000	20,405,286	4,295,000		432,743	15,677,543	

事業名		ICT健康づくり事業費				単位：円
事業内容	1 ICT健康づくり事業 (1) 自発的な疾病予防をはじめ健康づくりのコミュニティ化を推進していくため、テレビ電話等の情報通信技術（ICT）を活用。定期的に地区センター等で健康状態を計測し、遠隔参加の医師と看護師等のコメディカルが連動した遠隔健康指導・相談等による健康づくりを実施する。 (2) 市民が「健康づくり」と「自立した生活」へ関心がもてるように、すこやか親子電子手帳、すこやか子育て電子手帳等のICTを活用した取り組みを実施する。 2 健康づくりサポーター事業 健康づくりサポーターの養成と育成を行い、食生活の改善や運動を通して地域の健康づくりに取り組む体制づくりを支援する。	計画値	市民参加者 500人 活動拠点 17会場 巡回指導 延べ805回 介護事業連携 延べ17回 親子電子手帳利用者 300人(利用率30%) 子育て電子手帳利用者 400人(利用率20%)			
	1 ICT健康づくり事業 (1) 遠野テレビなどのインターネット回線を活用して、ICTによる健康づくりを市内18会場で進めた。(①歩数、血圧、体組成等の計測と血液検査による健康情報蓄積②遠隔医師等による遠隔健康指導)併せて、市内在住被災者の健康管理とサポートを実施した。 (2) 遠野市健康づくり総合プログラムに位置づけ、地区センター等を活動拠点とした健康づくりのネットワーク化を推進した。 (3) 健康情報のネットワーク化に係るシステムの維持管理や母子手帳交付時に電子手帳の周知と拡大を図った。 (次ページへ続く)		実績値	市民参加者 411人 活動拠点 18会場 巡回指導 延べ907回 介護事業連携 延べ17回 親子電子手帳利用者 428人(利用率 36.6%) 子育て電子手帳利用者 493人(利用率 24.0%)		

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	1 目	保 健 衛 生 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

成 果	<p>2 健康づくりサポーター事業 市民の健康づくりを担う健康づくりサポーターの養成と育成を行った。</p> <p>また、健康づくりサポーターは地域の健康づくり活動として食生活の改善や運動（生活習慣病予防のため）の普及啓発を行った。</p> <p>(1) 栄養改善状況（啓発・普及） ・個別指導：17人 ・集団指導：17回、延べ364人に指導</p> <p>(2) 健康づくりサポーター養成教室（元気・楽しくミニ健康塾）の開催 ・2会場（小友・達曾部地区）、延べ84人参加</p> <p>(3) 組織育成（研修会の開催） ・食生活改善推進員研修会：47回、延べ548人参加 ・運動普及推進員研修会：7回、延べ336人参加</p> <p>(4) 健康づくりサポーター活動状況（啓発・普及） 健康づくりサポーターが健康増進のために普及啓発した割合63.2% （計画値：59.0%）</p>	実績値														
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">予 算 額</th> <th rowspan="2">決 算 額</th> <th colspan="4">財 源 内 訳</th> </tr> <tr> <th>国県支出金</th> <th>地 方 債</th> <th>そ の 他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>46,638,000</td> <td>45,051,882</td> <td>3,302,000</td> <td></td> <td>27,274,100</td> <td>14,475,782</td> </tr> </table>		予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	46,638,000	45,051,882	3,302,000	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳														
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源											
46,638,000	45,051,882	3,302,000		27,274,100	14,475,782											

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	2 目	予 防 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-------

事業名	予防接種費	単位：円
事業内容	<p>予防接種法に基づく予防接種を実施することにより、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。</p> <p>1 一類疾病の予防接種として、乳幼児の予防接種（集団接種…BCG、ポリオ、三種混合、個別接種…三種混合、麻しん風しん1期・2期）、児童生徒の予防接種（集団接種…二種混合、麻しん風しん3期、個別接種…麻しん風しん4期）の実施</p> <p>※制度改正により、10月から不活化ポリオ、1月から四種混合を実施 ※二種混合＝ジフテリア・破傷風混合ワクチン、三種混合＝ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン、四種混合＝百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン</p> <p>2 二類疾病の予防接種 インフルエンザ予防接種（子ども、高齢者）の実施</p>	<p>計画値</p> <p>集団接種率（BCG・ポリオ・二種混合・MR3期） 100%</p> <p>個別接種率（三種混合・MR1・2・4期） 85%</p> <p>65歳以上のインフルエンザ予防接種率 50%</p>
	成果	<p>1 乳幼児の予防接種は、未接種者に対し健診や相談事業時に個別指導を実施したことにより高い接種率を得ることができ、伝染病予防に効果を上げた。</p> <p>児童生徒の予防接種は、学校の協力のもと集団接種を実施したことにより、児童や保護者の負担軽減が図られたほか、高接種率を得ることができた。</p> <p>2 インフルエンザ予防接種は、生後6カ月～18歳の子ども、65歳以上の方を対象に、接種費用の一部を助成し感染予防に努めた。</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳
51,799,000	46,628,828	国県支出金 2,214,495 地方債 一般財源 44,414,333

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	2 目	予 防 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-------

事 業 名		子宮頸がん等ワクチン接種事業費				単位：円
事業内容	<p>予防接種法に基づかない任意の予防接種である子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種について公費助成を行うことにより、接種を促進し、疾病の罹患及び重症化を抑制する。 (国庫補助1/2 … 県が基金を設置し、市町村に対し助成)</p>	計画値	対象者の接種割合 (1回目接種者数) 80.0%			
	<p>子宮頸がん予防ワクチンは、中学1年生の女子を対象に実施し、個別通知、チラシの配布、未接種者への個別勧奨を行った結果、高い接種率を得ることができた。 ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンは、県立遠野病院小児科医が集団接種により同時接種を実施した。2カ月児から同時接種を行うことで高い接種率になった。 また、未接種者には健診や相談事業時に個別指導を実施し、高い接種率を得ることができた。</p>		実績値	対象者の接種割合 (1回目接種者数) ・子宮頸がん予防ワクチン 93.1% ・ヒブワクチン 93.6% ・小児用肺炎球菌ワクチン 92.9%		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
20,569,000	17,876,487	8,396,000			9,480,487	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	3 目	環 境 衛 生 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事 業 名		リサイクル促進事業費				単位：円
事業内容	<p>遠野市公衆衛生組合連合会が実施する事業に対し、財政的支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 護美箱クリーンアップ事業 ・ 生ごみ堆肥化促進剤購入助成 ・ 資源集団回収奨励金 ・ 生ごみ処理機等購入助成 ・ ごみ減量化物品購入助成 ・ 地域環境美化推進事業 	計画値	護美箱クリーンアップ事業 150カ所 資源集団回収実施団体 40団体			
	<p>ごみ集積所の補修に対して助成する護美箱クリーンアップ事業を展開したことによってごみ集積所が衛生的に管理され、ごみ分別に対する意識の高揚につながった。また、資源集団回収奨励金事業等を展開したことにより、資源の有効活用やもえるごみの減量が図られた。</p>		実績値	護美箱クリーンアップ事業 32カ所(13行政区) 資源集団回収実施団体 44団体(回収量325トン)		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,800,000	3,800,000			3,800,000		

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	3 目	環 境 衛 生 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		浄化槽設置事業費				単位：円
事業内容	<p>農村地域や郊外においても生活様式の多様化により、家庭から排出される生活雑排水の量が年々増加し、生活環境の悪化や河川等の水質汚濁の要因となっている。</p> <p>そこで、集合処理（公共下水道、農業集落排水）以外の地域に、し尿と生活雑排水を処理する浄化槽の設置を図ることにより、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与する。</p>	計画値	浄化槽設置基数	60基		
	<p>浄化槽設置により、自然環境の保全、公衆衛生の向上及び生活環境の改善に寄与している。</p> <p>また平成24年度から、特定地域及び集団型浄化槽設置整備事業補助金を設け、浄化槽普及に努めた。</p> <p>浄化槽の設置者に対し設置事業費の一部を補助した。</p> <p>5人槽（従来型）625,000円×16基＝ 10,000,000円 5人槽（集団型）657,000円×1基＝ 657,000円 7人槽（従来型）730,000円×40基＝ 29,200,000円 7人槽（集団型）770,000円×3基＝ 2,310,000円 10人槽（従来型）925,000円×3基＝ 2,775,000円 補助金合計 44,942,000円</p>		計画人数	230人 (全人口に対する普及率 0.77%)		
成果		実績値	目標基数	3,127基		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
51,657,000	45,842,509	18,835,000			27,007,509	

事業名		「斎場の森」整備事業費				単位：円
事業内容	<p>平成23年度から平成25年度の3カ年計画で「斎場の森」を会場に遠野市緑化祭を開催。市民の協力をいただき、下刈りと植樹が行われた。</p> <p>平成23年度 地ごしらえ、植樹、下草刈り 平成24年度 遊歩道の整備、倒木の処理、苗木の植樹 平成25年度 下草刈、苗木の植樹</p>	計画値	苗木の植樹	600本		
	<p>・周辺の倒木処理を実施。 ・遊歩道にチップを敷き遊歩道整備を実施。 ・平成24年11月10日、遠野市緑化祭で「斎場の森」周辺にオオヤマザクラ、シチハモミジ、コブシ、ハナミズキの苗木を植樹し周辺環境が整いつつある。</p>		倒木の処理	一式		
成果		実績値	苗木の植樹	600本		
			倒木の処理	一式		
			歩道の整備	一式		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,750,000	1,634,325				1,634,325	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	4 目	環 境 保 全 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		自然環境保全事業費				単位：円
事業内容	<p>早池峰国定公園や自然環境保全地域である荒川高原、琴畑湿原、大洞カルストに代表される、遠野市の貴重な自然環境を将来にわたり保全するため、これらの地域等において、環境の保全活動及び意識啓発を実施する。</p>	計画値	自然公園保護管理員の配置	2人		
			自然保護指導員の配置	3人		
成果	<p>早池峰国定公園に自然公園保護管理員を、自然環境保全地域に自然保護指導員をそれぞれ配置し、地域内の監視、利用者への指導及び保全啓発を行うことにより貴重な自然が保護されている。</p> <p>また、早池峰国定公園においては、高山植物盗菜防止パトロールや携帯トイレ利用の啓発等の早池峰キャンペーンなど、周辺市町村や関係機関、ボランティア団体と連携し、環境の保全及びマナーの向上に努めた。</p>	実績値	自然公園保護管理員の配置	2人		
			自然保護指導員の配置	3人		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,788,000	4,444,977	2,190,525			2,254,452	

事業名		公害対策事業費				単位：円
事業内容	<p>公害発生の未然防止及び公害のない住みよい環境の維持を目的に、主として水質調査の実施や猿ヶ石川の保全活動に取り組む。</p> <p>また、放射能問題による市民の安心、安全、不安解消対策として、放射性物質濃度測定器を購入し、市民が持参する食品等の測定を行うほか、簡易型空間放射線量測定器を購入し、市民へ貸し出しを行う。</p>	計画値	河川水質調査	13カ所		
			酸性雪調査	2カ所		
		放射性物質濃度測定器購入	1台			
		放射線量測定器購入	15台			
成果	<p>河川水質調査等の実施により、市内河川の水質の状態が良好であることが確認された。</p> <p>環境課事務室内に放射性物質濃度測定室を設置し、放射性物質濃度測定器で、市民が持参する食品等の放射性物質濃度測定を実施し、測定結果を広報やホームページで周知を図った。（測定件数185件）</p> <p>また、市内小学校（11カ所）の校庭の地表付近の空間放射線量を毎月測定し公表したほか、簡易型空間放射線量測定器を15台購入し、地区センター等に配置し、市民に無償で貸し出しを行うなど、放射線に対する不安の解消と、市民に対する放射能知識の普及啓発に努めた。</p>	実績値	河川水質調査	13カ所		
			酸性雪調査	2カ所		
		放射性物質濃度測定器購入	1台			
		放射線量測定器購入	15台			
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,409,000	7,113,823	80,000			7,033,823	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
-----	-------	-----	-----------	-----	------------

事業名		生活習慣病予防プログラム推進事業費				単位：円
事業内容	健康増進法、がん対策基本法に基づき、一次予防（健康増進・疾病予防）二次予防（早期発見・早期治療）に重点をおいた健康推進事業を実施する。 ○健康診査：各種がん検診（胃・大腸・肺・乳腺・子宮・前立腺）、骨粗鬆症予防検診、成人歯科健診、肝炎ウイルス検診、基本健康診査、結核健診の実施 ○健康手帳の交付：40～60歳の節目年齢を対象に交付 ○健康教育：市民健康講座、事業所等での健康づくり教室の開催 ○健康相談：健診事後個別相談 ○訪問指導：要指導者への保健指導を実施 ○地区組織活動：保健推進委員など地域で健康づくりを担うサポーターの育成・支援を実施	計画値	がん検診（胃・肺・大腸・乳腺・子宮）受診率：50%			
	健康手帳交付数 300件 健康教育 70回1,200人 健康相談 58回850人 訪問指導 35件					
成果	1 がん検診の重要性を周知し受診勧奨に努めた。就労世代が受診しやすいよう休日検診を継続し、併せて夕方検診の回数を増やし受診機会の拡大を図ったが、受診率は横ばいであった。対象者の未受診理由の把握に努め対策を検討する必要がある。 なお、要精密検査者に対し、早期受診につながる為家庭訪問や電話により受診勧奨を強化した結果、27名のがん罹患者が早期発見され、早期治療につながった。	実績値	がん検診（胃・肺・大腸・乳腺・子宮） 受診率 20.7～31.2%			
	健康手帳交付数 379件 健康教育 77回2,284人 健康相談 59回1,022人 訪問指導 48件					
2 検診の結果、事後指導が必要な者には、健康相談・家庭訪問による個別指導を実施し、疾病予防、重症化防止を図った。						
3 市内の事業主が集まる機会や、健康づくりに関心の高い企業を訪問し健康講話を実施、就労世代への健康意識の向上に努めた。						
4 保健推進委員並びに健康づくり協力員（保健推進委員経験者）へ健康教育等を行い、それを基に各委員が地区ごとに健康講座や継続的な検診の受診勧奨活動を展開、地域単位での健康づくりの普及を図った。						
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
61,123,000	59,891,611	4,955,000		9,067,215	45,869,396	

各種がん検診受診状況の推移

（平成22年度～24年度実績）

*がん発見者数は平成25年6月末現在 （単位：人、％）

年度	平成22年			平成23年			平成24年		
	受診者	受診率	がん発見者数	受診者	受診率	がん発見者数	受診者	受診率	がん発見者数
胃がん	3,208	25.2	7	3,188	26.2	4	3,102	24.5	7
肺がん	3,769	28.8	2	3,849	32.3	3	3,769	30.4	1
大腸がん	4,251	29.8	9	4,321	33.0	11	4,294	31.7	10
乳がん	1,356	30.6	4	1,201	32.9	4	1,304	26.6	5
子宮頸がん	1,219	22.9	3	1,066	23.8	0	1,167	20.9	0
前立腺がん	835	11.0	4	1,322	25.1	8	1,322	22.1	4
合計	14,638		29	14,947		30	14,958		27

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
-----	-------	-----	-----------	-----	------------

事業名		健康スポーツプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	1 遠野市健康づくり総合大学とすぼは、市民センターを本校とし、スポーツ、保健、生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践。市内9地区センターをサテライト校とし、地域の実情に応じた健康づくり活動を実践。	計画値	健康づくり教室 ・本校 96回 ・サテライト校 83回 ・とすぼ大学祭 1回		
	2 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、生活習慣の改善を図る。 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・キッズ元気アップ応援隊による園児の体力・運動能力向上の推進		チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援隊 13園		
成果	1 本校及びサテライト校で各種健康教室を実践した。市民からは、健康づくり教室に参加し、体調も良いとの声も聞かれた。 また、回数を増やしてほしいとの要望もあり、健康づくりに関する意識が高まってきている。	実績値	健康づくり教室 ・本校 95回 ・サテライト校 69回 ・とすぼ大学祭 1回 チャレンジ徒歩通学 11校実施		
	2 10月をチャレンジ徒歩通学強化月間とし、市内全小学校 1,337人を対象に実施し、児童の体力向上が図られた。 また、キッズ元気アップ応援隊は、保育園（13園）へ講師を派遣し、様々な運動を体験させることで、運動することの楽しさを体感させることができた。		キッズ元気アップ応援隊 13園実施		
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,848,000	3,014,671			448,700	2,565,971

4 款	衛 生 費	2 項	清 掃 費	1 目	清 掃 総 務 費
-----	-------	-----	-------	-----	-----------

事業名		岩手中部広域行政組合負担金			単位：円
事業内容	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町の3市1町で構成する岩手中部広域行政組合において、平成27年10月の稼働を目標に進めている岩手中部地区の一般廃棄物処理施設の建設に向けて、各種委託業務及び人件費等を負担する。	計画値	焼却施設に係る環境影響評価業務 一式		
			中継施設生活環境影響調査業務 一式 PFI等導入アドバイザー業務 一式		
成果	1 (仮称)岩手中部広域クリーンセンター整備及び運用基本契約、(仮称)岩手中部広域クリーンセンター整備及び運営事業建設工事契約、(仮称)岩手中部広域クリーンセンター整備及び運営事業運営業務委託、(仮称)岩手中部広域クリーンセンター整備及び運営事業セメント処理業務委託契約が行われた。	実績値	焼却施設に係る環境影響評価業務 一式		
	2 焼却施設、中継施設(サテライトセンター)建設に係る各種委託業務等が円滑に進められた。		中継施設生活環境影響調査業務 一式 PFI等導入アドバイザー業務 一式 クリーンセンター整備及び運用に係る業務 一式		
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
14,692,000	11,816,975				11,816,975

4 款	衛 生 費	2 項	清 掃 費	2 目	塵 芥 処 理 費
-----	-------	-----	-------	-----	-----------

事業名		塵芥収集処理費				単位：円
事業内容	<p>家庭から排出されるごみは、一般廃棄物として自治体の責任において処理することになっていることから、収集業務を業者に委託し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。</p>	計画値	収集日数	257日		
	一人当たりの年間ごみ排出量		290kg			
成果	<p>適正に委託業務が行われ、生活環境の保全が図られた。 また、もえるごみの減量と資源の有効活用を図るために平成23年度から5品目に限ってプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、平成24年度から対象品目をプラスチック製容器包装全般に拡大したところ、目標を大きく上回る量が排出され、もえるごみの減量につながった。</p>	実績値	収集日数	257日		
	一人当たりの年間ごみ排出量		312kg (H23年度:321kg)			
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
70,092,000	68,478,185			26,250	68,451,935	

事業名		不燃物埋立地閉鎖事業費				単位：円
事業内容	<p>宮守村一般廃棄物最終処分場の閉鎖に向けて、所要の調査を実施する。 また、下流域の住民の安心・安全のために、遠野市不燃物埋立地の浸出水の水質検査を年一回実施する。</p>	計画値	遠野市不燃物埋立地水質検査	一式		
	宮守村一般廃棄物最終処分場水質等検査		一式			
成果	<p>両施設とも基準値の超過は見られなかった。</p>	実績値	遠野市不燃物埋立地水質検査	一式		
	宮守村一般廃棄物最終処分場水質等検査		一式			
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
6,328,000	5,460,000				5,460,000	

4 款	衛 生 費	2 項	清 掃 費	2 目	塵 芥 処 理 費
-----	-------	-----	-------	-----	-----------

事 業 名		再生利用施設運営費				単位：円
事業内容	一般家庭から排出される資源ごみを分別・保管するとともに、不燃ごみと粗大ごみを破砕し、鉄とアルミに分別して有価物の再生利用を促進する。				計画値	年間処理計画 資源ごみ 1,250 t 不燃・粗大ごみ 613 t
	成果	施設の適正な運営管理が行われ、有価物の再生利用の促進が図られた。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
39,624,000	38,405,839			16,926,498	21,479,341	

事 業 名		災害廃棄物処理事業費				単位：円
事業内容	東日本大震災で損壊した建物から発生した瓦や壁材などの災害廃棄物を適切に処分し、生活環境の保全と公衆衛生の確保を図る。				計画値	処分量 1,640.00トン
	成果	東日本大震災で発生した災害廃棄物を平成23年度と平成24年度で中間処理又は最終処分し、生活環境の保全と公衆衛生の確保が図られた。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
25,916,000	14,623,350	11,667,000			2,956,350	

4 款	衛 生 費	2 項	清 掃 費	3 目	し 尿 処 理 費
-----	-------	-----	-------	-----	-----------

事 業 名		し尿処理費			単位：円
事業内容	家庭から排出されるし尿の収集業務を業者に委託し、生活環境の保全を図る。	計画値	収集件数	26,600件	
			収集量	20,300k1	
成果	委託業務が円滑に行われ、生活環境の保全が図られた。	実績値	収集件数	25,634件	
			収集量	20,130k1	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
103,142,000	102,997,958			98,512,600	4,485,358